

今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画

－ 概要 －

《《 計画の趣旨等 》》

計画の性質：長期的かつ全県的な視野に立った今後の県立高等学校の在り方について、基本的な考え方を示すもの。

計画期間：平成26～35年度

計画の推進：計画的・段階的に実施を図る。概ね5年間で必要に応じて見直しを検討。

《《 社会の変化や高等学校を取り巻く状況 》》

◆社会の変化

- ・グローバル化の進展，産業構造の変化
- ・人口減少や少子高齢化が進展

◆高校生の状況

- ・学力の伸びが停滞傾向，自ら学ぶ意欲・態度が不十分
- ・卒業後3年以内の離職率が高い
- ・内向き志向

◆中学校卒業生数の減少

- ・平成元年をピークに大きく減少しており，今後も減少する見込み

《《 県立高等学校教育の在り方 》》

役割 高等学校教育の機会均等の確保と質的水準の維持向上

- 全県的な視野に立って，県立高等学校を県内各地域にバランスよく配置

目指す姿 グローバルに活躍する人材・地域で活躍する人材などの多様な人材を育成

- 将来の夢や目標をもって学び，その実現に向けた学力を定着・向上
- 社会人・職業人として自立するために必要な資質・能力の育成
- グローバル社会に生きる力の育成

課程・学科等の在り方

全日制課程

- 普通科：進学希望者への学力向上の取組、就職希望者への実践的・体験的な活動を取り入れた職業教育の取組を推進
 - ・普通教科の内容の高度化・深化をさせるため、探究的な活動を重視した専門学科（普通系）「探究科（仮称）」の新設を検討
 - ・地域の医療を支える医師や学校教育を支える質の高い教員等となり得る人材を育成する類型の設置を検討
- 専門学科：高度な技術・技能を習得した人材及び専門分野の基礎・基本だけでなく幅広い知識や技術・技能を身に付け地域の様々な産業・社会を担っていくことができる人材を育成する教育を推進
 - ・農業、工業及び商業の専門高校拠点校において、細分化された小学科の基幹的な専門分野への集約を検討
 - ・高度な技術・技能を身に付けた専門的職業人の育成に向け、大学等と連携して先進的な卓越した取組を行うスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの仕組みの活用を検討
 - ・複数の専門学科からなる専門高校の設置を検討
- 総合学科：生徒の多様な興味・関心、進路希望等に応じた学習を可能にするという特質を生かした教育活動を推進
 - ・各学校において、生徒の実態や社会・地域の産業等の変化を踏まえ、系列や設置科目の見直しを検討

定時制課程・通信制課程

- 多様な学習形態や学習内容による生徒一人一人のニーズに対応した教育を推進
 - ・課程の枠組みに捉われない学校「フレキシブルスクール（仮称）」の設置を検討
 - ・複数の定時制課程の統合等により、多部制定時制課程の設置を検討

中高一貫教育校

- グローバルリーダーの育成を目指した学校の在り方を検討
- 広島中・高は、グローバル化に対応した教育を一層推進
 - ・広島中・高の成果を広めるために、既存高校の併設型中高一貫教育校への改編を検討
- 地域の特徴を生かした特色ある6年間の一貫した教育を推進
 - ・連携型中高一貫教育校の新たな指定を検討

県立高等学校の配置及び規模の在り方

基本的な考え方

- 中山間地域と都市部等の地域ごとに異なる状況を踏まえ、学校の配置と学校の規模を検討
 - ・地域のニーズや生徒・保護者の希望等に応えることができる学校の適正な配置を推進
 - ・学校の規模は、1学年6学級を標準とし、今後の生徒数の推移や通学時間の現状等を考慮し、中山間地域に所在する学校は1学年2～6学級の範囲内を、その他の地域に所在する学校は1学年4～8学級の範囲内を基本とする

取組の方向性

- 生徒が興味・関心、進路希望等により学校選択ができるよう通学時間等も考慮し、全日制課程の「普通科」及び「専門学科」、「定時制課程（フレキシブルスクールを含む）」、「併設型中高一貫教育校」の配置を推進
- 1学年3学級以下の学校については、より活力ある教育を展開できるよう活性化を図る
- 1学年1学級規模の学校：
 - ・学校関係者、学校が所在する市町及び市町教育委員会等で構成する「学校活性化地域協議会（仮称）」を設置し、活性化策を検討
 - ・3年間、活性化策を実施し、在籍80人以上の維持を目指す
 - ・活性化策を実施後、2年連続して在籍80人未満の学校については、学校活性化地域協議会の意見を聴いた上で、地理的条件を考慮し、次の①から③までのいずれかを決定
 - ①近隣の県立高等学校のキャンパス校
 - ②地元中学校と緊密な連携による一体的な学校運営（中・高の教員が相互に兼務、6年の一貫した教育課程、合同行事、合同部活動等）を行い、活力ある教育活動を展開する「中高等学園構想（仮称）」
 - ③統廃合（市町立学校としての存続を含む）
 - ・ただし、教育活動及び部活動において、充実した活動を行うための地域の支援体制が整っており、これらの支援を受けながら、全国トップレベルの特筆すべき実績をあげ、将来も同様の成果が見込まれる学校については、別途検討
- 中山間地域以外の地域では、生徒急増期と学校数がほとんど変わっていないことを踏まえ、発展的な統合の実施を検討